

求職者に魅力を知って頂きご応募頂く方法

採用するにあたり、新卒社員、中途社員・パート社員の応募をしているが、「良い人がこない」「人が集まらない」との声を聞きます。

お金をかけて求人広告を出せば、それで応募が来るとは限りません。

もちろん、しっかり文面を整えて、十分ターゲットの人材から応募が来ているようであれば全く問題ありませんので、その場合は継続してください。

もし、求人広告にお金はかけているのに、応募がこない、良い人が来ないと思われている方がいらっしゃったら、是非続きを読んで頂き、求職者に魅力を伝える参考にして頂ければ幸いです。

【3つの広告を意識する】

求人を出す際に3つの媒体が整っているかを確認してみてください。

- ① 求人広告
- ② 自社 HP・自社採用サイト
- ③ SNS

求職者が仕事を探す場合の入口としては、求人サイトを使って仕事を探す場合が多いです。

求職者の一番はじめのきっかけは①求人広告媒体（リクナビ、マイナビ、タウンワーク、インディード等）で仕事を探します。

この場面では、場所、労働時間、労働条件、給与、職種などの条件面を確認される場合が多いです。

もちろん有料広告でご応募頂けるケースも多いですが、求職者は応募する会社もしくは応募した会社をより知ろうとして、②自社 HP・自社採用サイトを見ます。

自社 HP では、その会社の事業や、働き方、雰囲気を知ろうとします。

より現場の雰囲気を知るのであれば、③SNS を確認します。実際の職場の雰囲気や社風、一緒に働く人、環境を知りたいので、写真の掲載の多いインスタグラムやフェイスブック、YouTube でイメージをより深めて頂けます。

【自社の魅力を手軽に知って頂く方法】

求人広告で仕事内容や、条件、雰囲気の最低限のお伝えはできます。

しかし、求人広告ですと、文字数制限や、写真の枚数等が限られており、伝えたい事が伝えきれないことがあります。そこで文章で伝えきれていなければ、自社 HP・採用サイトで追加の魅力を伝えるということが出来ます。

また、最近ではもう1つ手軽に現場等を知る方法として SNS があります。

SNS 等を活用して、写真で職場環境や社風を載せておけば、文章で「良い会社ですよ」とアピールするよりも理解して頂けます。写真なので、文章よりも、イメージが伝わりやすく、社風や一緒に働く人を発信する場として活用できます

なお、面接前に自社の雰囲気や、社風が分かって頂けてご応募頂けるので、求職者の入社確度もあがります。

次に、余力があれば YouTube という選択もあります。動画編集があるので、こちらは少しハードルが高いかも知れませんが。

ただし、動画を作成して頂ければ、どのような人物を求めているか、どのような方と一緒に働きたいか、どのような職場なのか等、こちらの伝えたい魅力や惹き付けを相手の都合の良いタイミングで見て頂けます。

社長が直接求職者にメッセージを伝える事もできます。パート向け、中途向け、新卒向け等作成頂ければ、ご応募頂いた際に、URL を貼り付けてお送りすることで事前に社長の人柄や、伝えたいメッセージも伝わります。

SNS 等であれば原則無料で活用できるため、追加の費用がありません。求職者も普段からスマホアプリで見ているので、抵抗感も少ないです。

しかも発信した情報は蓄積されていくので、投稿数が増えればそれだけ、職場環境への理解を深めて応募頂けます。